

令和５年度 第３回西区区政会議 会議録

1 開催日時 令和６年１月１８日（木） １９時から２０時５５分

2 開催場所 西区役所４階４０２会議室

3 出席者の氏名

伏見 祐子（委員）、秦 喜代子（委員）、阪口 元樹（委員）、大林 成嘉（委員）、宮地 秀和（委員）、木下 幹夫（委員）、谷井 舞（委員）、竹下 政稔（委員）、杉本 陽子（委員）、江戸 実（委員）、岸本 結花（委員）、北田 美和子（委員）、信達 和典（委員）、丹下 理沙（委員）、名村 奈美子（委員）、長谷 奈津見（委員）、畠山 力（委員）、藤枝 寛示（委員）、山内 憲之（委員）、川野 英二（委員）、三村 浩也（西区長）、村上 光司（西区副区長）、松谷 康男（総務課長）、森本 恵二（事業調整担当課長）、玉置 信行（教育担当課長）、折原 裕之（地域支援課長）、大島 一晃（安全安心きずなづくり担当課長）、西村 悦子（窓口サービス課長）、江川 浩子（保健福祉課長）、真田 理恵（保健主幹）、吉岡 範行（子育て支援担当課長）、山中 一弘（生活支援担当課長）

4 議題

（１）令和６年度西区運営方針について

（２）令和６年度西区予算について

5 議事内容

[開会]

（森本事業調整担当課長）

これから令和５年度第３回西区区政会議を開催します。

定数 25 人の 2 分の 1 以上が出席されており、本会議は成立していることを確認します。

[区長あいさつ]

(三村西区長)

皆さんこんばんは。本日は夜分遅く、また年初のお忙しい時にお集まりいただき本当にありがとうございます。本日が本年の区政会議の第 1 回目となります。これから 1 年間、どうぞよろしくお願いします。

まずは先日元旦に起こりました令和 6 年能登半島地震ですが、お亡くなりになられた多くの方々にお悔やみを申しあげるとともに、被災された方々に対してお見舞い申しあげたいと思います。

大阪市役所も発災直後から多数の応援を派遣していますが、西区役所も本日から現地の避難所の運営支援に応援を派遣したところです。1 日も早い現地の復旧をお祈りしたいと思います。

それから、区政会議についてですが、前回の 11 月は新しいメンバーになって初めての会議でしたが、非常に活発にまた新しいご意見を多くいただきました。私も各グループ討議を拝聴し、本当に皆さんの西区に対する思いを強く感じた次第です。その姿を拝見しながらうれしく思いました。

来年度の運営方針を策定しているところですが、出された意見のうち反映できるものは反映させていただき、反映できないまでもその趣旨をとらまえて活動につなげたいものについては、区政会議委員意見に対する区役所の考えとしてまとめてありますので後ほど説明させていただきます。

本日のグループ討議の中で課長から説明がありますので内容を確認いただきたいと思います。また皆さんの意見を参考にして、より区民に寄り添った施策になるようにしていきたいと思っていますのでご討議のほどよろしくお願いします。

それから、お手元にあるリングノートですが、これはSDGsの関係で間伐材を使用したノートで、二十歳のつどいで新成人の皆さんにお配りしたものです。特徴的なのが木質にミヤクミヤクが書いてあるというのも非常に貴重な一品です。また、ミヤクミヤクの色といえば赤や青を皆さんイメージされると思いますが、黒色のミヤクミヤクは非常に珍しいので覚えておいていただければと思います。

次に、堀江にあるOCA大阪デザイン&テクノロジーという専門学校の生徒たちがデザインしてくれたステッカーです。これは全部で6種類あります。イベントで配っており、参加していただくとこれが6枚そろうということになりますので、ぜひイベントにもご参加いただければと思います。

続いて、これは地味かもしれませんが、紙ファイルです。通常プラスチック製のものが多いかと思いますが、廃プラ脱プラを象徴した紙ファイルを作りましたので、ぜひご利用いただければと思います。

それから地域に戻れば、「イベントに参加するとこういうのももらえますよ」というようなことで、イベントに来ていただくなど万博の趣旨の啓発にぜひご利用いただけたらありがたく存じます。

本日も長時間にわたりますがよろしくお願いします。

[資料確認]

(森本事業調整担当課長)

配付資料を資料番号順に説明。

[区政会議委員アンケート集計結果]

(川野議長)

本日は、前回ご意見をいただきました令和6年度の運営方針及び予算について、区役所がまとめた案を精査するとともにその具体的な執行についてご意見をいただく場で

す。夜間の会議でもありますので午後 9 時には終了したいと考えております。皆さんのご協力をよろしくお願いします。

まず、昨年 11 月に区役所が実施したアンケートの結果報告をお願いします。

（森本事業調整担当課長）

昨年の 11 月半ばから 11 月末にかけて実施させていただいた区政会議委員へのアンケートの結果及びその結果を踏まえた今後の区政会議の運営について報告させていただきます。資料 1 及び資料 4 をご覧ください。

最初に、資料 1 の一番上の回答者数ですが、委員 25 名中 24 名から回答をいただきました。ご協力いただきありがとうございます。

このアンケートの内容は、区政会議の運営、例えば会議の時間帯や年間の実施回数についてお聞きしたものと、区政そのものに対する意見をいただいたものと、大きく 2 つに分かれています。

このうち、資料 1 では区政会議の運営に関するものをまとめています。

一方、区政についていただいた意見は、前回第 2 回区政会議のグループ討議で皆さんからいただいた意見とあわせて、資料 4 にまとめています。

ここでは資料 1 のみ説明させていただき、資料 4 についてはこの後のグループ討議でそのグループのテーマに関するものを説明しますので、討議の材料としていただきますようお願いいたします。

それでは資料 1 に戻っていただき、2 番目の会議の運営関係について順番に説明します。まず、設問 2 の会議の実施時間等についてですが、まず時間帯としては、午後 6 時から 9 時を選択された方が、概ね 8 割、長さは 1 時間から 3 時間を選択された方が 9 割となっております。設問 3 の実施頻度については、年 3 回が突出して多くなっています。次、事前勉強会の要否についても、必要に応じてという回答が 8 割を超えています。以上をまとめますと、今後も会議時間帯は、午後 6 時から 9 時の間、基本は 2 時間程度としながら、議題等によっては最大 3 時間まではお願いすることもあるか

と考えています。開催回数は年3回とさせていただき、勉強会については、その都度要否について委員の皆さんにお諮りをし、例えば、必要なグループのみ実施するというような運営も考えてまいりたい。

次に、設問4のグループ討議についてですが、討議時間は1時間、グループ分けは現在の形を基本に必要な人だけ調整という選択が一番多い結果となりました。討議テーマについて、こだわりはないという方が一番多い結果となった一方で、委員の希望に沿ったテーマという選択も3人いらっしゃいました。具体的な討議テーマをお考えの委員がおられましたら、この後のグループ討議で提起いただければと思います。

続いて、区役所課長の会議進行についてですが、概ね高評価をいただきましたが、自由記述に記載の意見もいただきましたので改善の材料とさせていただきます。特に、「意見に対して具体的にどう取り組むのか」という質問に関しては、資料4にお示ししていますので、グループ討議でご論議いただければと存じます。

続いて、3ページをご覧ください。5番のグループ討議の全体的な満足度についてです。大いに満足、まあ満足といった肯定的な評価が概ね5割、普通も5割弱という評価の他、不満も1割弱いらっしゃいました。この後のグループ討議においても、改善に向けた意見をいただければと存じます。

次に、6番の院生の皆さんによる意見集約・発表について、ですが、基本的には高い評価をいただきながら、区役所によるサポートの必要性等についての意見もいただいています。それを踏まえて今回は微調整をさせていただきます。

7番目は、グループ討議の部屋を分けるかどうかをお聞きしたのですが、結果を踏まえ今回もこの部屋においてパーテーションで仕切った形でグループ討議を行うこととします。

最後に、設問5の自由意見ですが、院生の参加に対する評価の他、委員一人ひとりの発言時間についての意見もいただいていますので、先ほどの院生の意見集約及び発表の件とあわせて、グループ討議の進行説明の際に説明させていただきます。

[令和 6 年度西区運営方針]

(川野議長)

質問はありませんか。無いようですので続いて本日のグループ討議の前段として令和 6 年度の運営方針案及び予算案について区役所から 2 件続けて説明をお願いします。

(森本事業調整担当課長)

本日の会議は、令和 6 年度西区運営方針及び予算についてその案を皆さんにご提示をさせていただき、内容を確認いただくこと、さらには具体的な取組みについて意見をいただくことを第一義としています。具体的にはこの後のグループ討議で、運営方針案、予算案を材料に議論いただきたいと考えています。その前段として、私からは運営方針、松谷総務課長からは予算について、それぞれの概要を簡単に説明させていただきます。

それではまず、運営方針について簡単に説明します。お手元の資料 2－1、西区運営方針案及び 2－2 西区運営方針具体的取組内容の 2 つをご覧ください。まず資料 2－1 ですが、これは 24 区共通の様式になっており、令和 6 年度の区役所の主な取組みをコンパクトにまとめたいわば概要版です。一方、概要版だけでは、区役所が何を目的に何をしようとしているのかが区民にわかりにくいという思いから、西区独自で資料 2－2 西区運営方針具体的取組内容を作成している次第です。資料 2－1、2－2 ともに令和 5 年度分からの変更点を赤色の字や見消しという形で示しています。特に区政会議委員の皆さんの意見を踏まえて変更した点については、資料 2－1 では委員意見反映、と記載し、資料 2－2 では、マスコットキャラクターにっしーをあしらいそれとわかるように表現しています。このうち資料 2－2 については、この後のグループ討議で各担当課長から変更の考え方等を説明させていただきます。ここでは資料 2－1 のみ説明します。

それでは、改めて資料 2－1 をご覧ください。この資料 2－1 の全体の構成についてですが、1 ページ上段の四角囲みが区役所の目標、使命及び区役所の基本的な考えで

あり、令和6年度の区役所全体の取組みの大きな方向性を示したものとなっています。その下、重点的に取り組む経営課題においては、地域コミュニティの活性化など、全部で4つの経営課題についてそれぞれ区役所の課題認識、その解決方策、達成できたかどうかを図るための数値目標を記載しています。

それでは、1ページに戻っていただき一番上の、目的、使命及び所属運営の基本的な考え方の囲みをもう一度ご覧ください。この欄は、令和8年度までの4年間における区政の方針を定めた将来ビジョンと整合する表現となっていますので、基本的には令和5年度と同じ内容になりますが、赤字で記載の西区万博については区役所として特に注力する事業であり追記をしています。

次に、経営課題について順に説明します。まず、経営課題1－(1)地域コミュニティの活性化については、今年度どおりの表現としています。特に、三村区長が就任以来一貫して取り組んでいる町会加入促進支援については6年度も引き続き鋭意取り組んでいきます。

続いて、2ページの経営課題1－(2)安全・安心で快適なまちづくりについては、中ほどの主な戦略の欄をご覧ください。ここでは防災に関して記載していますが、少し補足して説明します。冒頭区長からもありましたが、能登半島地震における防災対策として、消防局、水道局をはじめ、全市を挙げて輪島市への職員派遣並びに支援を行っており、西区役所としても本日より2名の職員を避難所の支援として派遣しています。今年の6月9日ですが、西区全地域での合同防災訓練が予定されており、また2月17日には防災シンポジウムが開催されます。今回、輪島市へ派遣した職員の知見、経験を生かしながら、このようなイベントの実施も含め、今後とも、西区の防災力の向上、区民の皆さんの防災意識の向上に取り組んでいきます。その他には赤字で示している部分をご覧ください。防犯に関しては、犯罪が起こりにくい環境の整備のために非常に重要であるとの考え方から、「地域における自主防犯活動の活発な展開」を追記しています。地域福祉においては、見守り活動の仕組みの構築はほぼ達成し、

今後はその仕組みを必要な支援につなげていくことが重要との観点から、文言を修正しています。また、改定した地域福祉ビジョンでの表現に合わせて、地域住民に地域福祉への理解を深めていただくことの重要性を鑑み、文言を追記しています。

続いて、3 ページの経営課題 2－(1) 安心して子育てや教育ができる環境づくりについてですが、一番上の課題認識をご覧ください。11 月の第 2 回区政会議において区政会議委員からいただいた子供の目線を施策に反映すべきとの意見を踏まえ、子どもを主語に加えています。さらに、その下の主な戦略ですが、これも前回の区政会議で、区政会議委員からいただいた子どもの居場所の整備を求める意見を踏まえて追記しています。

最後に、4 ページですが、ここでは、区役所が一体となって、万博の機運盛り上げに取り組むことや、区政会議委員の意見を踏まえて動画による情報発信について追記しています。運営方針についての説明は以上です。

[令和 6 年度西区予算]

(松谷総務課長)

令和 6 年度の予算算定額について説明します。資料 3－1 をご覧ください。

資料の上段部分に令和 6 年度区長自由経費 4 億 818 万円と記載しています。その右横には、令和 5 年度予算からの増減として 3,761 万円とあり、予算額が増えていますが何に使うかは決まっている予算となっています。詳しくは、次ページの資料 3－2 をご覧ください。左の欄の真ん中辺りですが、令和 5 年度の当初予算 3 億 4,387 万円から令和 6 年度の当初予算は 17 万円増えて 3 億 4,404 万円となっています。左の欄の上の方に追加予算について記載していますが、令和 5 年度から令和 6 年度で 3,744 万円増えています。内訳としては、上段の万博機運醸成事業として 2,600 万円とありますが、これは 2025 年に開催される大阪・関西万博に向けて、区民の皆さんに万博の開催意義や西区の魅力発信を行い、万博への期待感を持っていただくための事業として

予算がついたものです。その下、九条東小学校活用方針調査として、987 万円とありますが、新たに令和 10 年度末をもって廃校となる九条東小学校の土地建物の活用方針等を検討するための予算です。その下ですが、住民情報業務委託料として 950 万円とありますが、1 階の窓口業務の委託料等の増額分です。続いて、住民情報キオスク端末設置の 703 万円は住民発行手数料のキャッシュレス化とキオスク端末設置等に伴う予算です。その下に区政推進基金として 211 万円とありますが、企業や区民の方からいただいた寄付金を原資としてその意向に基づいて実施する事業予算です。一番下の保守点検等 963 万円とありますが、堀江中学校の保守点検経費等の予算です。続いて右の欄をご覧ください。追加予算分を計上しています。令和 6 年度の区長自由経費は 4 億 818 万円となっています。

資料 3－1 に戻ってください。予算も運営方針に基づいて 4 つの経営課題にまとめていますのでその説明をします。

左上の 1 つ目、地域コミュニティの活性化の 8,511 万円についてですが、主なものは①区民まつり、二十歳の集いなどで 1,267 万円。②地域活動活性化のための地域活動協議会への補助金として 2,479 万円。④区民活動拠点としての区民センターの維持管理に 2,006 万円となっています。なお、昨年度比で 710 万円の減となっていますが、5 ヶ年計画で実施していた区民センターのトイレ改修が今年度で終了となり、その予算を計上していた 1,800 万円が不要となりました。増減としては先ほど説明した九条東小学校活用方針調査の 987 万円と差し引きしておよそ 710 万円の減になっています。次に、左下の安全・安心で快適なまちづくりの 2,639 万円についてです。⑤災害に強いまちづくりの防災対策として 870 万円。⑦の地域の見守り活動への支援として 1,287 万円となっています。昨年度比で 281 万円の増となっていますが、増要素としては、もと堀江中学校の保守点検経費として 253 万円が含まれています。

次に、右上の安心して子育てや教育ができる環境づくりの 1,356 万円についてですが、⑧の訪問型病児保育に 587 万円、乳幼児発達相談等援助に 398 万円となっています。

昨年度比で 46 万円の増となっていますが、新規事業である不登校支援の予算が増えています。

最後に、右下のニア・イズ・ベターを徹底するための区役所づくりの 2 億 8,312 万円についてですが、⑨の広報紙発行費等に 1,287 万円。⑩の区役所機能の維持管理費として、光熱水費や区役所の保守点検経費等を合わせて、2 億 8,312 万円となっています。

昨年度比で 4,144 万円の増となっていますが、先ほど説明した追加予算分の万博機運醸成事業、住民情報業務委託料、住民情報キオスク端末設置が含まれています。

資料 3－3 については、資料 3－1 の予算事業ごとの一覧ですので後ほどご確認ください。

資料 3－4 については、区の重点事業で下の囲みの中をご覧くださいと、地域コミュニティの活性化、安全・安心で快適なまちづくり、安心して子育てや共有ができる環境づくり、ニア・イズ・ベターを徹底するための区役所づくりの中で、5 つの事業を記載していますが、これらが来年度重点的に取り組んでいく 5 事業となっています。

[グループ討議]

(川野議長)

今の説明について質問もあるかと思いますが、この後のグループ討議でまとめてお願いできればと思います。それではグループ討議を始めるにあたり進行について区役所から説明してください。

(森本事業調整担当課長)

前回と同様、現在の席のまま、4 つのグループで議論していただきます。繰り返しますが、今回のグループ討議の目的は、前回の第 2 回区政会議で皆さんからいただいた意見も踏まえて区役所が作成した運営方針や予算の案について内容の確認をいただくこと、またさらに具体的な取組方針等について意見をいただくことです。先ほ

ど申しあげたとおり、まず区役所担当課長から資料２－２の西区運営方針具体的取組内容について赤字で記載の変更点等について説明します。それに加えて、資料４の区政会議委員意見及びそれに対する区役所の考えについて各グループのテーマに関わるものを各課長が説明します。その上で、課長説明に対する疑問や運営方針の記載内容に関する修正等の意見をいただくととともに、令和６年度の区役所の具体的な取組み方についても意見をいただければと考えています。区役所と委員の間だけではなく、委員間においても活発に意見を交換していただければと思います。

さて、先ほどアンケートの説明の際にも申しあげましたが、アンケート結果も踏まえ、グループ討議の進行について２点、微修正させていただきたいと存じます。１点目は、討議内容の整理についてです。会議終了５分ほど前をめどに、各グループでの討議をまとめるための時間を５分程度おとりしますので、院生の皆さんが円滑に内容を把握できるように討議内容の整理をお願いします。各課長が把握した内容を皆さんに確認しますので、必要な修正や追加について指摘してください。院生の皆さんも自分が発表しやすいように遠慮なく確認等をお願いします。２点目は、おひとりの発言時間についてです。１回の発言について長くとも２～３分程度になりましたら一旦置いていただくようにお願いします。進行する各課長が仕切らせていただくこともあるかと存じますが、ご協力よろしくをお願いします。

＝一旦中断＝

[グループ討議結果の報告]

(川野議長)

活発な議論をいただきましたが各グループで出された意見等をお聞かせください。まずは、地域コミュニティ・防犯・防災グループからお願いします。

(地域コミュニティ・防犯・防災グループ)

私たちは、主に町会加入促進、町会と子ども会の関係、防犯・防災の3つのトピックについて議論しました。まず、最初の町会加入促進については、委員から現在の町会加入率がどれくらいかという質問があり、今年は45%、昨年が44.9%で、下げ止まっている現状があるとはいえ、もっと前では地域によっては70、80、90%のところもあったようです。町会加入ですが、マンションについてはファミリー層の参加はあるのですが、単身者は転入してきてもすぐ転出するとか、若い人ではそもそも地域活動にニーズを感じていない人がいるため、町会加入してもらうのが難しい現状もあるというお話を伺いました。また、担い手づくりには考え方が2つあり、1つは町会加入率を上げていくということ、もう1つは企業やNPO等を取り込みながら、つながりを作っていくという2つの方法が考えられるという話でした。

2つ目のトピックとしては、町会と子ども会の関係のことで、委員の方から、マンションに住んでいる方が自分自身が町会加入しているのかを確認する方法があるのかという質問がありました。管理費、自治会費が自動引落としになっているかで確認できたり、回覧版や広報が回ってくる人は加入していると分かるのですが、未加入の人が確認するのは難しいのではないかという意見が出されました。また、子ども会に加入しているが町会に入っているかを知らない方の事例では、子ども会に加入しているので自動的に町会にも入っていると本人は認識していたが、イベントに参加し福引きをする時になって、子ども会には加入しているが町会には入っていないために、福引きを引かせてもらえなかったというお話がありました。こういうこともあるので、自分が町会に入っているかどうかを確かめることが必要であり、また町会としても子ども会の周知をする際に町会のこともあわせて周知する取組みも必要ではないか、という意見が出ました。

最後に、防災に関してですが、防災訓練を行ってもいつも参加者の顔ぶれは変わらない。今年の6月9日には初めて区全体で防災訓練が実施されるので、この機会に防災が大事だということを改めて周知して、若い方にも来ていただける取組みとなるよう

仕掛けが必要ではないかという意見がありました。

（川野議長）

次に福祉・健康グループからお願いします。

（福祉・健康グループ）

このグループで出された意見を紹介します。まず高齢者対象のスマホ体験教室に関して、日常的に居場所を作り、それに加えて定着して定期的に開催できる体制が求められています。次に、地域で行われている様々な活動について、従来からの各地域における継続的な活動に対する支援を行うのか、もう少し若い層も含めて多様な年齢層の方が活動できる場を提供するのか、西区全体としてどのように進めていくのか考えていく必要があるのではないか、というお話がありました。

それから、区の予算については、イベントをあちらこちらで開催すると相当の予算が必要になることから、予算が足りない場合にどのように工夫するのかという問題があります。

健康づくりに関しては、基本的に高齢者を対象とした活動があちらこちらの会場で実施されているが、高齢者以外の方を対象とした活動はあまり取組まれておらず、対象を広げていくことが求められています。

健診については、勤労世代は仕事で忙しいため受診する時間が少ないので、健康維持のために健診を活用してもらうには、この地域包括ケアシステムの枠内で、勤労世代が身近で受診しやすい場で健診や献血の機会を提供できるのではないのか。

最後に、地域における世代交流について、地域の交流に関する場所、情報を整理して、興味がある方に提供すると参加してもらいやすくなるのではないのかということでした。

（山中生活支援担当課長）

一つ補足をすると、以前は、文化の集い等に献血カーが来ていましたが今は来ていない。人が多く集まるイベントに、例えば健診が受診できるとか、献血カーが来てくれると、もっと参加者が増えるのではないのかという意見もありました。

(川野議長)

続いて、子育て・教育グループからお願いします。

(子育て・教育グループ)

不登校支援をメインテーマに議論が進みました。まず、予算についてですが、69万円の用途について質問があり、区役所からは人件費として考えているという回答でした。花乃井中学校では、PTA活動の一環で保護者対象にソーシャルワーカーによる講演を企画していますが、子育て支援室から職員を派遣して、こどもサポートネットコーディネーター等についてお話をされる予定とのことでした。

また、中学校内に新たに子どもの居場所をモデル設置するというのが資料2-2の7ページに記載されていますが、それに関して場所と運営について質問がありました。場所については学校内に設置し、利用できるのは当該中学校の生徒のみ、運営は先生ではない方を予定しているとのことでした。不登校の原因は多様ですが、勉強についていけない子どもへの支援に関して質問があり、心和中中学校が開校すること、区役所が夏期講習会を開催し、そこでは民間の塾による指導を月1万円で受講できるとのことです。さらに、ソーシャルワーカーの不登校生徒への関わりについて質問があり、姿が見えないことが一番危ないので、家庭訪問を実施しているとのことでした。概ね、このような内容で議論しました。

(玉置教育担当課長)

不登校支援の居場所づくりの関係で少し補足します。委員の皆さんからはこのような形で居場所を新たに作っていく取組みは非常に画期的であり、良いのではないかと意見いただきました。それと同時に、まずはモデル校でということだけれども、今後広げてもらいたいという意見もいただきました。

(川野議長)

最後に、広報・窓口改革・ICTグループからお願いします。

(広報・窓口改革・ICTグループ)

まず、資料4の意見番号10番についてです。LINEの公式アカウントに質問しても個別の回答がないということに関して、大阪市ではこれまで各区で取り組んでいたLINEが令和6年4月から市で一元管理することになり、現在はシステム構築中ということでした。続いて、同じく資料4の意見番号11番についてですが、広報に関して紙媒体がよいのかSNSがよいのかについては、年齢により紙媒体がよい場合もあれば、LINEやさまざまなSNSを使うのがよい場合もあり、対象に応じて取組むべきだということが話し合われました。

次に、防災アプリについて話題になりました。ある委員が町会での話合いの場で、防災アプリをダウンロードしているかを聞いてみると、誰もしていなかった。その理由を確認すると、誰もこのようなアプリがあることを知らなかった、とのことでした。平時にダウンロード、登録して、いつでも使えるように用意しておくことが必要ですが、このようなアプリは万人に使いやすいとも限らないので、例えば、区長が直接しているXなどを見られるようにする、オンタイムで新しい情報が見られるというのはよいのではという意見が出されました。

それから、資料2-2の一番最後10ページに「西区万博」の推進という項目があります。これはすべての区で取り組まれているとのことで、この啓発活動に2,600万円の予算をかけるのであれば、効果があったかを可視化し市民にも周知する必要があるし、成果があることが分かれば区民、市民も納得するのではないかという意見が出ました。また、ここで記載されているバルイイベントについても、集客目標人数、チケットのノルマなどは無いようですが、効果をデータとして分かるようにしてはどうかという意見もありました。

続いて、今回配られたこのような万博PRグッズに関して、例えば、LINE登録するとプレゼントがもらえるようにしたら、応募してくれるのではないか。それが目的では

ないが LINE 登録につながるのではないか。例えば、万博のチケットや今回配付された紙ファイル、ノートなら欲しいという人がいるのではないか。今回配られたこのシールに QR コードを載せておくとダウンロードしてもらいやすいのではないかと意見もありました。

（西村窓口サービス課長）

広報紙「かぜ」にプレゼントがありますよ、と記すと見てもらえるのではないかとという新たな目線での私たちがちょっと考えられないようなアイデアをいろいろいただきました。それから、万博については、事業をするたびに、例えば LINE の登録者数や YouTube のアクセス数が増えたなど、何かしらエビデンスをとっていく必要があるということもご意見としていただきました。

DX は国を挙げて進めていますので、西区役所でもコンビニに置いてあるマイナンバーカードで住民票が取得できる端末を 6 年度には置く予定にしています。あわせて、書かない窓口ということでマイナンバーカードをおけば申請用紙がプリントアウトされること、それからレジのキャッシュレス化を検討していること等の説明や質疑がありました。

〔議論まとめ〕

（川野議長）

それでは、グループ討議を中心にして本日の議論を整理します。具体的な課題とそれをどう解決するのかということについてかなり深掘りした議論ができていたという印象を受けました。

地域コミュニティ・防犯・防災グループでは、町会加入促進の問題についてかなり時間をとって議論されていました。自分は子ども会に入っているが町会にも入っているかどうか分からないという状況があるそうです。その話があったときに他のグループでも大きくうなずいている方が何人もいました。これは非常に問題で、要するに、

加入しているか否かというある種のデータベースというか、情報管理があまりうまくいっていないのだろうと感じました。こうした加入情報をもう少し区全体として共有して、もう少しマネジメントできればいいのですが、うまくできてないということを感じました。

それから、福祉・健康グループの報告にありましたが、例えばイベントの開催にあわせていろいろな検診につなげていく機会が作れたらということはかなり具体的な提案だったと思います。また、包括ケアを高齢者の方にとってどのように身近なものにしていくのかという方向性についての課題があったとのことでした。それから、高齢者だけではなく、他の年代の人たちとの交流も含め、ターゲットをもう少し幅広く、あるいは支援のターゲットを集約することが必要ということでした。例えば最近「ケア」という言葉がよく使われますが、ケアというのはもう高齢者のことだけではないはずで、子どもや子育て中の方とか含めて幅広くケアを全体としてとらえてみて、もっと高齢者和其他の世代とをつなげていくことも必要なのかなと思いながら、聞かせていただきました。

子育て・教育グループについては、不登校について非常に議論の焦点があたっていたようですが、いろいろな施策が居場所づくりの支援として行われているとのことでした。先ほど言いましたケアもこのことと関係していると思います。学校に行っている子ども、行けなくなった子どもたちをどのようにケアしていくのかを地域でどう考えていくのかが大きな課題であると思いました。

最後に、広報・窓口改革・ICTグループですが、LINEをどのように登録してもらうのか、かなり具体的な提案があり、例えば先ほど言った、LINEに登録するとプレゼントがもらえるようにしたり、グッズなどにQRコードをつけて登録してもらうなど、いろいろと具体的な課題の解決案が出ていたということが分かりました。

防災アプリについても、登録していないのは知らないからということもありますが、これも何かやり方があるのかなと思いました。最初の町会加入促進も同じですが、少

し仕掛けを考えればもう少しうまくできるもの、例えばいろいろなデータを共有していく、子ども会に入っている人たちのデータを共有して、町会とつなげていくことをもう少ししっかりとできていけば、いろいろなことができると思います。情報伝達の手段はアプリとか、メールでもいいかもしれません。年齢によって使いやすい手段がありますので、そのようなことを幅広く考えていけばもっとポテンシャルがあると、お話を聞きながら感じました。今日は非常に具体的な議論があったと思いますので、区役所ではこうした議論を十分に踏まえて運営方針に反映していただきたいと思います。私のまとめは以上です。ありがとうございました。

（森本事業調整担当課長）

川野議長、議事進行ありがとうございました。委員の皆さんも本日は活発な意見交換と議事進行に協力いただきありがとうございました。最後になりますが、三村区長からあいさつを申し上げます。

[区長あいさつ]

（三村西区長）

皆さん、長時間の議論を本当にありがとうございました。

先ほど川野先生からもありましたが、私も各グループを回らせていただいて本当に具体的な議論をいただき、建設的な提案もいただいたと認識しています。運営方針は半分でき上がっている形ではありますが、ここにいただいた意見等を加味しながら、運営方針を作り上げて完成させていきたいと思っています。ありがとうございました。

私の方から何点か補足をさせていただきます。

まず不登校についてです。子育て・教育グループではかなりの時間を割いて不登校に対して議論をいただきました。おそらく他のグループでも、不登校については関心をお持ちの方が多いのではないかと思います。前回も申しあげましたが、西区の中学生

ではもう 1 割を超えて、昨年の 4 月で 10% 程度の生徒が不登校になっているという状況でしたが、それがさらに拡大しているのが今の足元の状況のようです。これがこのピッチで増えると本当に大変なことになるので、今回対策を打ってサポートルームや保護者を孤立させない取組みを進めていきたいと考えています。私も教育の現場には直接携わったことがなくて、親としてもあまり子どもの世話を正直していなかったなという反省もありますが、いろいろな書物等を読むと、不登校は親と子どもでタイミングが全く違うと、このような言葉がありました。本当に学校に行くのがしんどい、クラスにいることがつらい子どもにとっては不登校が始まると解決の一步ですと。それが親から見ると、子どもが学校に行かなくなった、不登校になった、学校に行かなくなったことが、問題のスタートですと。このような家庭が結構多いとお伺いしました。子どもの立場と親の立場は全く逆だという中で解決を探らないといけない。これは、家庭でも問題ですが、学校でもどのように手を打てばいいのか、なかなか難しい問題だと思いますので、まずは皆さんにそれを理解していただいて、親が孤立しないように、子どもの居場所を作りながら解決策を図っていきたいと思います。まずはモデル校で実施して、その後、全中学校に広げていきたいという計画で考えています。また情報は都度発信していきますので、皆さんからもいろいろと意見をいただければと思います。

それから、町会加入、コミュニティについてですが、地域コミュニティは大事だということを今回の能登半島地震で改めて思いました。避難所の状況を皆さんテレビでよく見られていると思いますが、その場に自分が居た場合、どのようにするだろうか、どのような気持ちになるのだろうか等ということもぜひ考えていただきたいと思います。災害や天災等があった時には、みんながどこかに集まってお互い助け合うのだと思います。したがって、地域コミュニティが大事で、西区の現状では地域コミュニティの大層を占めるものが町会であり、町会の加入率は今 45% ぐらいで半分弱の方が加入しています。この町会が強くなることがあらゆる面で、この西区を住みやすいまち

に変えていくのだろうと思います。そのため、町会加入に一生懸命取り組まないといけな

ただ、町会加入率がこのように下がっていることについて、私は3つに分類分けできると

入ってもらえない理由としては何をやっているのか分からないであるとか、そもそも自分がどこかに属しているのだろうけれどそれがどこなのか分からないとか、そのよ

続いて、広報、SNS の活用ですが、非常に建設的な意見をいただきました。区長から直接発信した方が生に伝わるのではないかという意見でしたが、確かにそのとおりだ

当該のグループの議論では、そのようなことをご存知ない方が多かったので、私の広報も少し足りないと考えています。もう少し考えていきたいと思っています。さらに、

毎回感じるころですが、今日の議論も新たな気づきになることもあれば、以前にそのように思っていたことを改めて思い出させてもらうなど、本当に私にとっては非常に刺激のある場になっています。今日も本当に有意義な議論をいただきありがとうございました。これからも区政への支援、指導のほどよろしくお願いします。

ありがとうございました。

[閉会]

(森本事業調整担当課長)

本日は、長時間にわたり意見をいただきありがとうございました。いただいた意見や提案については、区役所で精査したうえ、反映すべきものは令和6年度運営方針に反映し、最終的には4月末までに西区のホームページや広報紙で公表させていただく予定です。次回、令和6年度第1回区政会議は6月頃を予定していますのでよろしくお願い申し上げます。以上をもちまして令和5年度第3回区政会議を終了します。